

たくさん緑、おだやかに流れる瀬戸川や宮川、おいしい空気など、飛騨には豊かな自然がたくさんあります。私は生まれたときからその自然に囲まれて暮らしてきました。だから、見渡せばどこにでも自然があることが当たり前だと思っていました。でも、そのことは決して当たり前なことじゃなく。もっと飛騨の自然を大切にしなければいけないと思うようになりました。

私がそう思うようになったのは、中学校に入ってからです。それまでの私は正直、飛騨には緑しかなくて、特別なものは何もなく、普通でつまらないと思っていました。それなのに都会には大きなビルや楽しめる場所がたくさんあっていいなと憧れを持っていました。そんなとき、飛騨を訪れた観光客の方が、「飛騨には自然がたくさんあって、空気もおいしくて新鮮でいいね」と話されていたことを知りました。それを聞いたとき、当たり前なことではなく、良いことなんだと思いました。それと同時に、とても嬉しい気持ちになりました。そして、私が初めて都会に旅行に行ったときのことを思い出しました。そのとき私は山がなくて緑が少ないことにすごく驚きました。やっぱり、自然に囲まれた暮らしの方が落ち着くと思いました。それくらい自然というのは飛騨の人たちに深く根付いているものだ実感しました。

今では、川の掃除をしたり、木を切りすぎないようにしたりと、自然を守るためのボランティアや工夫があります。私もそのように活動に積極的に参加して、何十年先もずっとこの自然を守り続けて残していってほしいです。

また、自然の魅力というのは観光資源であると思います。この自然のためにたくさんの人が訪れて、飛騨が活性化すればいいと思います。私はこれから今よりもっと自然を大切にしていきたいし、地域みんなで大切にしていく必要があると思います。